

(1) 年齢階級別退院患者数

対象期間: 2016/04/01~2017/03/31

年齢区分	0~	10~	20~	30~	40~	50~	60~	70~	80~	90~
患者数	0	7	43	129	307	580	1404	1311	461	23

【解説】一般病棟に入院された年齢階級別の退院患者数を示しています。
がんは、60歳代以降から増加するため、60歳代、70歳代が1000人を超えています。

(2) 診断群分類別患者数等

対象期間: 2016/04/01~2017/03/31

※10未満の数値は、-(ハイフン)を記入し、4位、5位の場合が-(ハイフン)の場合は記載していません。

○消化器内科(診療科コード500)

上位3つ	DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数(自院)	平均在院日数(全国)	転院率	平均年齢
胃癌の内視鏡手術	060020XX04X0XX	胃の悪性腫瘍 内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術 手術・処置等2なし	69	7.13	9.02	0	72.77
大腸ポリープの粘膜下層剥離術	060100XX03XXXX	小腸大腸の良性疾患(良性腫瘍含む) 早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	26	5.00	7.38	0	71.12
食道癌の内視鏡手術	060010XX02X00X	食道の悪性腫瘍(頸部含む) 内視鏡的食道粘膜切除術 等	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-

【解説】消化器内科は、多数の内視鏡的治療を行っています

肝細胞癌カテーテル手術は、血栓塞栓術 選択的動脈化学塞栓術のことで、IVR科が行っています。

○消化器外科(診療科コード510)

上位5つ	DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数(自院)	平均在院日数(全国)	転院率	平均年齢
胃癌の手術	060020XX02X0XX	胃の悪性腫瘍 腹腔鏡下胃切除術 悪性腫瘍手術等 手術・処置等2なし	50	17.96	17.65	2.00	69.96
結腸癌の手術	060035XX01000X	結腸(虫垂を含む)の悪性腫瘍 結腸切除術 全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術等 手術・処置等1. 2なし 副傷病なし	47	13.55	15.92	0	68.00
肝細胞癌のカテーテル手術	060050XX97X0XX	肝・肝内胆管の悪性腫瘍(続発性を含む) 血管塞栓術等 手術・処置等2なし	35	9.890	11.74	2.86	70.17
直腸癌の手術	060040XX02X00X	直腸肛門(直腸S状部から肛門)の悪性腫瘍 腹腔鏡下直腸切除・切断術 低位前方切除術 等 手術・処置等なし 副傷病なし	21	14.57	17.98	0	63.48
胃の全摘術	060020XX01X0XX	胃の悪性腫瘍 胃全摘術 手術・処置等2なし	17	23.47	20.58	0	67.18

【解説】消化器外科は、肝胆膵外科、食道胃外科、大腸骨盤外科の3グループからなります。
腹腔鏡下による手術が多くなっています。

○呼吸器内科(診療科コード340)

上位3つ	DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数(自院)	平均在院日数(全国)	転院率	平均年齢
肺癌の手術なし	040040XX99000X	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1・2なし 副傷病なし	40	15.08	14.83	0	71.38
肺癌の化学療法	040040XX99040X	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし、手術・処置等2(4)あり	38	14.66	12.35	0	69.76
肺癌の生検	040040XX9910XX	肺の悪性腫瘍 手術なし 経皮的針生検法 手術・処置等2なし	15	4.200	3.68	0	74.13
肺癌の化学療法(アリムタ注射用)	040040XX9908XX	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2(8)あり	10	12.50	12.01	0	69.50
-	-	-	-	-	-	-	-

【解説】肺癌の化学療法を多く行っています。またオプジーボ等の新薬を用いた治療も行われています。

○呼吸器外科(診療科コード160)

上位3つ	DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数(自院)	平均在院日数(全国)	転院率	平均年齢
肺癌の手術	040040XX97X0XX	肺の悪性腫瘍 胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術等 手術・処置等2なし	70	11.53	12.73	0	68.69
肺癌手術なし	040040XX99000X	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし	10	11.90	14.83	0	72.60
肺癌の生検	040040XX9910XX	肺の悪性腫瘍 手術なし 経皮的針生検法 手術・処置等2なし	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-

【解説】肺癌に対する胸腔鏡下手術を多く行っています。

○泌尿器科(診療科コード310)

上位3つ	DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数(自院)	平均在院日数(全国)	転院率	平均年齢
前立腺癌の手術	110080XX01X0XX	前立腺の悪性腫瘍 前立腺悪性腫瘍手術等 手術・処置等2なし	79	20.19	13.39	0	67.92
膀胱癌の経尿道的手術	110070XX0200XX	膀胱腫瘍 膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的手術 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし	37	10.84	7.44	0	73.30
精巣摘出術	110080XX02X0XX	前立腺の悪性腫瘍 精巣摘出術 手術・処置等2なし	15	4.53	6.10	0	73.27
前立腺癌の放射線治療(密封小腺源治療)	110080XX9906XX	前立腺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2(6)あり	12	6.08	4.27	0	68.33
-	-	-	-	-	-	-	-

【解説】前立腺癌には、腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術を中心に行っています。前立腺癌の放射線治療として密封小腺源治療(前立腺癌に対する永久挿入法)という最新の放射線治療を行っています。

○婦人科(診療科コード330)

上位3つ	DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数(自院)	平均在院日数(全国)	転院率	平均年齢
子宮癌の手術	12002XXX01X0XX	子宮頸・体部の悪性腫瘍 子宮悪性腫瘍 手術等 手術・処置等2なし	82	12.52	13.29	0	55.26
卵巣良性腫瘍の手術	120070XX01XXXX	卵巣の良性腫瘍 卵巣部分切除術(腔式 を含む) 開腹によるもの等	31	11.65	10.36	0	48.97
卵巣癌の手術	120010XX01X0XX	卵巣・子宮付属器の悪性腫瘍 子宮付 属器腫瘍摘出術(両側) 手術・処置等2 なし	27	12.22	13.58	0	55.11
子宮良性腫瘍の手術	120060XX01XXXX	子宮の良性腫瘍 子宮全摘術 等	27	11.70	10.05	0	47.04
子宮癌の腹腔鏡下手術	12002XXX97X00X	子宮頸・体部の悪性腫瘍 試験開腹術 手術・処置等2なし 副傷病なし	19	10.84	9.40	0	50.89

【解説】婦人科は、子宮内膜癌や子宮頸癌の子宮全摘術が多くなっています。

○乳腺外科(診療科コード111)

上位3つ	DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数(自院)	平均在院日数(全国)	転院率	平均年齢
乳房切除術	090010XX02X0XX	乳房の悪性腫瘍 乳腺悪性腫瘍手術 単 純乳房切除術 手術・処置等2なし	78	11.51	10.30	0	56.40
乳房の部分切除術(腋窩リンパ節郭清な し)	090010XX03X0XX	乳房の悪性腫瘍 乳腺悪性腫瘍手術 乳 房部分切除術(腋窩部郭清を伴わないも の) 手術・処置等2なし	78	8.94	6.59	0	58.05
乳癌の部分切除術(腋窩リンパ節郭清あ り)	090010XX01X0XX	乳房の悪性腫瘍 乳腺悪性腫瘍手術 乳 房部分切除術(腋窩部郭清を伴うもの(内 視鏡下によるものを含む))等 手術・処置 等2なし	59	13.66	11.57	0	55.27
乳癌の化学療法(ゲムシタビン等)	090010XX99X40X	乳房の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 2(4)あり 副傷病なし	11	9.55	4.64	0	60.00
-	-	-	-	-	-	-	-

【解説】乳房全摘の対象で乳房再建希望のある患者さんには、形成外科が乳房再建術を実施しています。

形成外科(診療科コード130)

上位3つ	DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数(自院)	平均在院日数(全国)	転院率	平均年齢
乳癌術後の乳房再建術	090010XX05XXXX	乳房の悪性腫瘍 組織拡張器による再建手術(一連につき)	22	10.64	7.91	0	48.64
リンパ管吻合術	070520XX97XXXX	リンパ節、リンパ管の疾患 手術あり	17	8.94	10.00	0	61.35
乳癌術後の乳房再建術(二次的)	090010XX04XXXX	乳房の悪性腫瘍 動脈(皮)弁及び筋(皮)弁を用いた乳房再建術(乳房切除後) 二次的に行うもの	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-

【解説】形成外科では、がん切除によって失われた組織を再建し、QOLの向上のための手術を行っています。

○血液内科(診療科コード480)

上位3つ	DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数(自院)	平均在院日数(全国)	転院率	平均年齢
非ホジキンリンパ腫のカテーテル設置と抗悪性腫瘍剤による治療	130030XX97X40X	非ホジキンリンパ腫 手術あり 手術・処置等2(4)あり 副傷病なし	44	27.05	34.90	0	70.43
白血病の化学療法	130010XX97X2XX	急性白血病 手術あり 手術・処置等2(2)あり	23	30.70	41.96	8.70	62.13
非ホジキンリンパ腫の治療	130030XX99X00X	非ホジキンリンパ腫 手術なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	18	8.39	10.71	22.20	71.11
非ホジキンリンパ腫の抗悪性腫瘍剤による治療	130030XX99X40X	非ホジキンリンパ腫 手術なし 手術・処置等2(4)あり 副傷病なし	17	20.65	16.38	0	73.47
多発性骨髄腫の抗悪性腫瘍剤による治療	130040XX99X5XX	多発性骨髄腫、免疫系悪性新生物 手術なし 手術処置等2(5)あり	10	26.80	25.11	0	73.40

【解説】血液内科は、「非ホジキンリンパ腫」の中でも「びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫」を数多く治療しています。

○腫瘍内科(診療科コード011)

上位3つ	DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数(自院)	平均在院日数(全国)	転院率	平均年齢
膵癌の手術なし	06007XXX99000X	膵臓、脾臓の腫瘍 手術なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	13	10.23	10.41	0	67.69
胃癌の手術なし	060020XX99X00X	食道の悪性腫瘍(頸部を含む) 手術なし 手術・処置等なし 副傷病なし	12	11.00	11.20	0	67.75
食道癌の化学療法	060010XX99X40X	食道の悪性腫瘍(頸部を含む) 手術なし 手術・処置等2(4)あり 副傷病なし	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-

【解説】腫瘍内科は抗がん剤治療の専門治療科であり、治療や臨床試験も実施しています。
呼吸器内科と血液内科で取り扱わない化学療法の対象となるすべての悪性腫瘍を対象としています。

○放射線治療科(診療科コード271)

上位3つ	DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数(自院)	平均在院日数(全国)	転院率	平均年齢
甲状腺癌の放射線治療(I131内用療法)	100020XX99X2XX	甲状腺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等2(2)あり	27	3.77	6.56	0	60.08
脳腫瘍の放射線治療	010010XX99030X	脳腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2(3)あり 副傷病なし	-	-	-	-	-
転移性胸膜腫瘍の放射線治療	040050XX99X2XX	胸壁腫瘍、胸膜腫瘍 手術なし 手術・処置等2(2)あり	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-

【解説】放射線治療科は、他のがんの入院症例は、各々の診療科が担当しているため、この統計値には反映されていません。
多くの症例は外来通院で放射線治療を行っています。

○緩和ケア科(診療科コード640)

上位3つ	DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数(自院)	平均在院日数(全国)	転院率	平均年齢
肺癌の緩和ケア	040040XX99000X	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 1・2なし 副傷病なし	-	-	-	-	-
肝細胞癌の緩和ケア	060050XX99X01X	肝・肝内胆管の悪性腫瘍(続発性を含む) 手術なし 手術・処置等なし 副傷病あり	-	-	-	-	-
膵癌の緩和ケア	06007XXX99000X	膵臓、脾臓の腫瘍 手術なし 手術・処置 等2なし 副傷病なし	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-

【解説】 緩和ケア科は、各診療科からの紹介が多く、病名が多岐にわたるため、表中の患者数は全て10件未満です。副傷病は入院時に別の病気を併存していることを指します。

(3)初発の5大癌のUICC病期分類ならびに再発患者数
対象期間:2016/04/01~2017/03/31

悪性腫瘍分類(UICC TNM分類)第7版使用

5大癌	初発					再発
	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	不明	
胃癌	119	13	24	61	11	12
大腸癌	29	16	51	39	29	28
乳癌	155	95	34	1	0	24
肺癌	74	42	91	186	20	219
肝癌	3	10	17	9	13	106

【解説】 5大癌(胃癌、大腸癌、乳癌、肺癌、肝癌)の病期(ステージ)別、初発患者数を示します。
ステージが増えるにしたがって、がんが進行していることを示しています。
「再発」は当センターで初発と診断され、その後再発した患者さんと、他院で初発と診断され、再発のため当センターを受診した患者さんを合わせた数となっています。

(4)成人市中肺炎の重症度別患者数

対象期間:2016/04/01~2017/03/31

10未満の数値は、-(ハイフン)を記入しています。

重症度	患者数	平均在院日数	平均年齢
軽症	-	-	-
中等度	22	12.27	77.55
重症	-	-	-
超重症	-	-	-
不明	-	-	-

【解説】当センターはがん専門病院のため、肺炎で入院される患者さんは限られています。
昨年度は中等度の患者さんが最も多く、次いで、重症の患者数は6名、平均在院日数は24.50日、平均年齢は73歳でした。

(5)脳梗塞のICD-10別患者数
 対象期間:2016/04/01~2017/03/31

10未満の数値は、-(ハイフン)を記入しています。

ICD10	傷病名	発症日から	患者数	平均在院日数	平均年齢	転院率
G45\$	一家性能虚血発作及び関連症候群	3日以内	-	-	-	-
		その他	-	-	-	-
G46\$	脳血管疾患における脳血管(性)症候群	3日以内	-	-	-	-
		その他	-	-	-	-
I63\$	脳梗塞	3日以内	-	-	-	-
		その他	-	-	-	-
I65\$	脳実質外動脈の閉塞及び狭窄、脳梗塞に至らなかつたもの	3日以内	-	-	-	-
		その他	-	-	-	-
I66\$	脳動脈の閉塞及び狭窄、脳梗塞に至らなかつたもの	3日以内	-	-	-	-
		その他	-	-	-	-
I675	もやもや病(ウイレス動脈輪閉塞症)	3日以内	-	-	-	-
		その他	-	-	-	-
I679	脳血管疾患、詳細不明	3日以内	-	-	-	-
		その他	-	-	-	-

【解説】当センターはがん専門病院のため、肺炎と同様、脳梗塞で入院される患者さんは限られています。
 昨年度は、80歳以上の患者さんが入院中に脳梗塞を発症したケースがありました。

(6)診療科別主要手術別患者数等(診療科別症例数例上位5位)
 対象期間:2016/04/01~2017/03/31

10未満の数値は、-(ハイフン)を記入しています。

外科

○消化器外科(診療科コード510)

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K6152	血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管等) 選択的動脈化学塞栓術	79	2.08	7.75	2.53	68.32
K719-3	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	56	3.91	11.18	0	67.50
K655-22	腹腔鏡下胃切除術 悪性腫瘍手術	28	3.89	13.21	0	66.82
K740-22	腹腔鏡下直腸切除・切断術(低位前方切除術)	26	4.08	25.54	3.85	62.46
K672-2	腹腔鏡下胆嚢摘出術	24	2.96	5.83	0	68.25

【解説】肝細胞癌に対して行われる「血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管等) 選択的動脈化学塞栓術」が最も多くなっていますが、治療はIVR科が行っています。また、腹腔鏡下手術に取り組んでいます。

○呼吸器外科(診療科コード160)

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K514-23	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 肺葉切除又は1肺葉を超えるもの	38	2.63	8.92	0	68.92
K514-21	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 部分切除	23	2.35	5.48	0	64.13
K5143	肺悪性腫瘍手術 肺葉切除又は1肺葉を超えるもの	13	2.38	10.77	0	68.54
K514-22	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 区域切除	12	2.67	8.25	0	67.08
K5131	胸腔鏡下肺切除術 肺嚢胞手術(楔状部分切除によるもの)	-	-	-	-	-

【解説】呼吸器外科では、胸腔鏡下手術に積極的に取り組んでいます。

○泌尿器科(診療科コード310)

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K843-3	腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術	77	3.62	15.55	0	67.61
K8036口	膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的手術 その他のもの	63	1.78	8.44	0	73.21
K830	精巣摘出術	21	1.43	4.43	0	75.19
K843	前立腺悪性腫瘍手術	-	-	-	-	-
K773-3	腹腔鏡下小切開腎(尿管)悪性腫瘍手術	-	-	-	-	-

【解説】当センターの泌尿器科は、前立腺癌の治療に力を入れており、腹腔鏡下による前立腺悪性腫瘍手術が最も多くなっています。

○婦人科(診療科コード330)

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K879	子宮悪性腫瘍手術	73	2.10	10.15	1.36	56.88
K877	子宮全摘術	67	2.09	8.91	0	50.51
K867	子宮頸部(腔部)切除術	55	1.00	2.27	0	34.24
K889	子宮附属器悪性腫瘍手術(両側)	34	2.06	9.79	0	53.29
K8881	子宮附属器腫瘍摘出術(両側) 開腹によるもの	22	2.00	8.82	0	47.00

【解説】子宮内膜癌や子宮頸癌などの子宮癌を数多く治療しています。

○乳腺外科(診療科コード111)

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K4763	乳腺悪性腫瘍手術 乳房切除術(腋窩部郭清を伴わないもの)	89	2.12	8.71	0.00%	54.61
K4762	乳腺悪性腫瘍手術 乳房部分切除術(腋窩部郭清を伴わないもの)	86	2.06	5.88	0.00%	57.78
K4765	乳腺悪性腫瘍手術 乳房切除術(腋窩鎖骨下部郭清を伴うもの)・ 胸筋切除を併施しないもの	56	2.13	10.84	0.00%	56.23
K4764	乳腺悪性腫瘍手術 乳房部分切除術(腋窩部郭清を伴うもの(内視 鏡下によるものを含む。))	11	2.00	9.09	0.00%	50.64
K4741	乳腺腫瘍摘出術 長径5センチメートル未満	-	-	-	-	-

【解説】当センターの乳腺外科は、「乳腺悪性腫瘍手術 乳房切除術(腋窩部郭清を伴わないもの)」が乳腺外科手術全体の約35%を占めています。

○形成外科(診療科コード130)

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K476-4	ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術	23	2.26	7.35	0.00%	46.22
K628	リンパ管吻合術	17	1.18	6.76	0.00%	61.06
K476-32	動脈(皮)弁及び筋(皮)弁を用いた乳房再建術(乳房切除後) 二次的に行うもの	-	-	-	-	-
K0301	動脈(皮)弁及び筋(皮)弁を用いた乳房再建術(乳房切除後) 一次的に行うもの	-	-	-	-	-
K476-31	四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術 下腿	-	-	-	-	-

【解説】「ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術」をはじめ、乳がん患者のQOL向上のための手術患者が過半数を占めています。

(6)診療科別主要手術別患者数等(診療科別症例数例上位5位)

対象期間:2016/04/01~2017/03/31

内科

○消化器内科(診療科コード500)

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K6532	内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術 早期悪性腫瘍粘膜下層剥離術	78	1.04	5.09	0	72.19
K721-4	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	39	1	3.00	0	70.89
K7212	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術 長径2センチメートル以上	21	1	3.05	0	69.38
K6152	血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管等)(選択的動脈化学塞栓術)	11	1.36	6.45	0	72.73
K7211	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術 長径2センチメートル未満	10	1.20	2.50	0	69.80

【解説】当センターは、早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術に積極的に取り組み、多数の治療例があります。

○血液内科(診療科コード480)

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K6113	抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用 植込型カテーテル設置(頭頸部その他に設置した 場合)	97	3.44	25.59	1.03	67.86
K9212口	造血幹細胞採取(一連につき)末梢血幹細胞採 取 自家移植の場合	-	-	-	-	-
K542	心腔内異物除去術	-	-	-	-	-
K775	経皮的腎(腎盂)瘻造設術	-	-	-	-	-
K745	肛門周囲膿瘍切開術	-	-	-	-	-

【解説】血液内科の手術では化学療法のために必要なカテーテル留置が全体の89%を占めています。

○腫瘍内科(診療科コード011)

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K6113	抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置(頭頸部その他に設置した場合)	25	1.20	7.52	0	63.92
K688	内視鏡的胆道ステント留置術	11	0.09	3.64	0	65.73
K689	経皮経肝胆管ステント挿入術	-	-	-	-	-
K682-2	経皮的胆管ドレナージ術	-	-	-	-	-
K6182	中心静脈注射用植込型カテーテル設置(頭頸部その他に設置した場合)	-	-	-	-	-

【解説】血液内科同様に、化学療法のために必要なカテーテル留置が最も多くなっています。

○呼吸器内科(診療科コード340)

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K6113	抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置(頭頸部その他に設置した場合)	10	3.50	15.80	0	71.50
K688	中心静脈注射用植込型カテーテル設置(頭頸部その他に設置した場合)	-	-	-	-	-
K689	内視鏡消化管止血術	-	-	-	-	-

【解説】呼吸器内科は、化学療法を中心に行っているため、手術件数は少なく、化学療法に必要なカテーテル留置を行っています。

○緩和ケア科(診療科コード640)

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K6113	抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置(頭頸部その他に設置した場合)	-	-	-	-	-
K6182	中心静脈注射用植込型カテーテル設置(頭頸部その他に設置した場合)	-	-	-	-	-
K637-2	経皮的腹腔膿瘍ドレナージ術	-	-	-	-	-
K689	経皮経肝胆管ステント挿入術	-	-	-	-	-
K664-2	経皮経食道胃管挿入術(PTEG)	-	-	-	-	-

【解説】緩和ケアに必要な処置として治療が行われています。

○放射線治療科(診療科コード271)

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
-	-	-	-	-	-	-

【解説】手術例はありません。

(7)その他(DIC, 敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発症率)

対象期間:2016/04/01~2017/03/31

10未満の数値は、-(ハイフン)を記入しています。

DPC	傷病名	入院契機	症例数	発症率
130100	播種性血管内凝固症候群	同一	-	-
		異なる	14	0.33
180010	敗血症	同一	-	-
		異なる	12	0.28
180035	その他の真菌感染症	同一	-	-
		異なる	-	-
180040	手術・処置等の合併症	同一	14	0.33
		異なる	-	-

【解説】入院したときの疾患と入院後の最も治療を投じた疾患が同じ場合、入院の契機が「同一」となり、そうでない場合、「異なる」と分類しています。
当センターはがん専門病院であるため、播種性血管内凝固症候群、敗血症で入院することはなく、がんの治療あるいはがんの進行に生じるものです。手術、処置等の合併症としては、吻合部狭窄、造影剤ショック、生検後出血などがあります。